



明治大学校友会
柏地域支部

ホームページ: <http://hakumei.apples.jp>



鎌倉 長谷寺

— 第 28 号 —

発行日 令和 3 年 8 月 15 日
 発行 明治大学校友会千葉県
 西部支部柏地域支部
 発行人 竹之内 明
 住所 〒277-0805
 千葉県柏市大青田 1015
 電話 04-7131-3080
 編集 山田秋彦
 (☎ 04-7169-0333)
 E-Mail: hakumei2@gmail.com

P1: 2 年連続の書面評決

P2: 枝豆農家お奨めの美味しい食べ方、新入会・新幹事の紹介、イベントの予定ほか

2 年連続の書面評決



竹之内 明
昭和 44 年商卒
柏地域支部長

日ごとに暑さが厳しくなりました。会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。当支部へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

皆様ご存知のとおり、昨年 2 月頃から日本におきましても新型コロナウイルス感染者が発生し、現在はワクチン接種や感染防止意識の向上等により、減少傾向にはありますが依然として全国的に感染者が発生しています。私事ではありますが、6 月中に 2 回のワクチン接種をしました。皆様はいかががでしょうか。2 回接種をしましてもコロナ感染はしないことは無いとのことなので、当分の間は感染予防に努めなければならぬと考えています。今回の新型コロナウィルス感染で、私としては、あまり詳しく知らなかった、クラスター(集団感染)、オーバーシュート(爆発的感染者増)、パンデミック(世界的流行)更には、三密(密閉・

密集・密接)という言葉を知ることになりました。

さて、柏地域支部の定時総会につきましては、ご案内のとおり令和 2 年度、令和 3 年度連続して一堂に会しての総会開催ではなく、書面表決を採らせていただきました。令和 3 年度も前年同様に、提案しました議案は、全て会員皆様のご賛同を頂きました事を報告いたします。なお、8 月に予定をしていました納涼会は、幹事会で協議をし、多数数での飲食はもう少し見合わせた方が良いでしょう。中止とし、秋頃のハイキング、1 月の新春の集いにつきましては、コロナ感染状況にもよりますが、何とか実施をしたいと考えていますのでその節は、ご参加宜しくお願い致します。

ところで、7 月 23 日から「第 32 回 2020 東京オリンピック・パラリンピック」が制限、制約を設け開催されます(7 月 1 日現在)。オリンピックと聞いて、会員の殆どの方は 1964 年(昭和 39 年)10 月 10 日、紺碧の空のもと国立競技場で開催された 18 回東京オリンピックのことを思い出すと思います。故作曲家古関裕而氏作のオリンピック行進曲のもとギリシャ選手団を先頭に最後に日の丸を掲げ整然と威風堂々と

日本選手団が入場し、空には航空自衛隊のブルーインパルス飛行隊による五輪の輪が描かれた事や、マラソンで円谷幸吉氏(故人)がゴール地点の国立競技場に 2 位で入ってきましたが、トラックで抜かれて 3 位になったシーンが記憶にあります。皆様の記憶の中で一番のシーンは何でしょうか。また、オリンピックとパラリンピックが同時に開催されるようになったのは、1964 年の東京大会からのことです。

結びに、コロナ禍での今回の東京大会が無事に終了すること、またワクチン接種希望者には一日も早い接種が出来ること、更には柏地域支部の総会が平常時どおりの開催が出来ることを願っています。



枝豆農家お奨めの 美味しい食べ方

昭和45年商学部卒 関根 生夫

関根農園お奨めの枝豆は、雪印種苗(株)の千葉市内圃場試験栽培で定評新品種(神風香&夏風香)を選び、1月下旬から苗床に播種を行ない、育った苗をロット毎に定植(JA推奨有機肥料施肥と適宜散水のハウス&露地)を続け、生育期間(80〜95日)を経た後、5月GW〜8月末迄、出品続行します。

枝豆収穫は、生育期間内に法令遵守・適切な農薬散布を行い、光合成で蓄えた莢の膨らみ具合を確認し、鮮度保持の為、朝採り(朝4〜5時)を行い納屋に運び、選定調整(根切り落とし&葉っぱ除去&水洗い&枝付莢の儘、関根農園独自の活性シート日持ちバッグ詰&5℃予冷庫保管)を行い出荷します。

枝豆農家お奨めの美味しい食べ方ですが、莢の元端を切り落とし塩揉みを行い、沸騰した煮え湯に適量の塩を加え、サッと3〜6分茹で揚げ、氷を塗した冷水に潜らせ、水気を切って器に盛付け、美味しく食べられます。又、塩揉みした

枝付き莢をピザ窯等でサッと焼いた焼枝豆も、美味しき請け合いです。どうぞお好みの調理で枝豆を満喫して下さい。

枝豆栽培復活を遂げた関根農園の取組みを綴りますので、ご一読戴けたら幸いです。

旧東葛飾郡旭村目吹の農家(水田稲作&葉タバコ作付)生れの小生は、東葛高普通科を卒業し、父の熱い願望を受容れ、キッコーマン(株)へ入社が適いました。そして、第七工場・購買部・計数部に勤務の傍ら、明大二部商学部と産能大マーケティングコースを卒業しました。

30才代中頃、営業マンに転身し、名古屋支店や水戸支店に勤務し、自社商品拡販に奔走しました。就中、ホテル料飲スタッフへの販促が縁で、日本ソムリエ協会員に登録し、ワインビジネスと深く関り、ワイン拡販を担いました。

50才代、東京本社勤務と成り、野田市目吹の生家に戻った頃、野田市農政課&JAちば県北の営農指導に由り、枝豆栽培者の作付け拡大を遂げました。しかも全国に先駆けて、早出しの野田市産枝豆は、首都圏市場で好評を博し、ブランド力を高め特産品に成長しました。平成6年、野田市の枝豆生産出荷量が、全国一位に輝く快挙を遂

げました。翌年6月某日、農水省虎ノ門庁舎内で出張即売有り、昼休時間を利用駆付け、祝福した記憶が蘇ります。

我家も、両親が半世紀前から枝豆栽培を続けましたが、高齢化に伴い力尽き、休耕地化した圃場を護る為暫くの間耕耘作業を続けました。

60才前後、農家組合の推薦を経て、農業委員に就いた小生は、野田市農産物直売所運営組合設立に関する事と成りました。そして、平成19年9月末、キッコーマン(株)を早急退職し、運営組合長職に専念し平成20年6月6日開業の農産物直売所ゆめあぐり野田開業セールを目指しました。自らも枝豆栽培出品に漕ぎ着ける為、80才後半の母を頼り、栽培手解きを受け、枝豆栽培復活を果たしました。

公設民営農産物直売所開業の超目玉品・枝豆供給の一翼を担い、千客万来を達成しました。その後、十余年経過致す中、愛娘が女子美大卒業後、茨城県内の農業学園で野菜栽培実践コース習得の後、同期生と結婚しました。就農10年目と成る今年、関根農園を継承し、枝豆(ハウス&露地)と、ミニトマト(ハウス)駆使スマート農業)栽培で成長を図ります。

野田市内外の量販ルートへ納品し、新鮮さと美味しさに拘り、若い力と、創意工夫を重ね乍ら、TV放映&業界誌の取材にも積極協力し、野田市名産枝豆の広告塔を担います。



●新幹事の紹介

平成12年法卒 上野妃呂美さん

●新入会員の紹介

昭和40年法卒 北川邦彦さん

●イベントの予定

いずれも予定、直前に確認をお願いします。

●ホームカミングデー(10月17日)

(当会より福引景品協賛金1万円寄贈)

●ハイキング(11月頃)

●新春の集い(4年1月下旬)

●柏地域支部総会(4年5月23日)

計報

令和3年4月2日、昭和29年政治経済学部卒、元柏市収入役、当会元副支部長の萩原功様がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。